

学校教育目標	豊かに学び、たくましく生きる松岡っ子の育成
育成を目指す資質・能力	・生きた知識、技能を身に付けた松岡っ子の育成 ・自ら考え、判断し、行動できる松岡っ子の育成 ・平和を愛し、ともに向上しようと挑戦する松岡っ子の育成

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 【国語】・語彙を増やす ・文章の意図をつかませる 【算数】・文章の意図をつかませる ・算数用語の意味理解、「変化と関係」の理解。	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・読書量、質の向上。 ・生活体験と学習内容を結び付ける。
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) ・授業の中で、自分の考えを書く時間や発表する機会を保障したり、個に応じた指導や補充学習をしたりすることにより、基礎基本の定着を図った。相手や目的を意識した文章を書く力を高める必要がある。 ・単元末テストの結果、各学年において4教科とも到達度が70%を超えている。 ・「思考・判断・表現」においては、どの学年も算数の到達度が70%台で、他の教科より低い。	
指導の状況	1 組織的な授業改善の取組状況 ・授業の見通しを黒板に位置付け、「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を提示する。 ・学年で学習進度をそろえたり、教材を共有したりして統一した指導をしている。 ・「書くこと」領域にしばった国語科の授業研究をすることで、書く力の育成を目指している。 2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ・各学年で「書くことに苦手意識をもつ子ども」の数を減らすための方法を考え、授業だけでなく家庭学習でも取り組み始めている。 ・大東中学校区で作った「家庭学習のすすめ」を活用し、家庭学習の内容と質について、子どもに指導するとともに、保護者への啓発も行っている。 ・授業中にICT機器を積極的に取り入れて、理解や表現の補助となるような活用の仕方ができるように工夫している。	

学力に関する達成指標

- ・1学期末に下位層児童(50%未満)の児童の人数と割合を把握し、手立てを考え、各学年ごとに決めた目標値を達成する。
- ・児童アンケート「1日の授業の中で『わかった』『できた』と思うことがありますか」という設問に対してA評価の児童の割合 80%以上
- ・児童アンケート「宿題や自学に取り組んでいますか」という設問に対してA評価の児童の割合 90%以上

